アルゴリズムとデータ構造 問題○のプログラム実装の考え方 学籍番号 21115 氏名 土肥 海斗 提出日 2024年12月10日

選んだ問題 オイラーグラフ、ハミルトングラフ、連結行列 (いずれかを選ぶ) 連結行列

(1) 入力例

7

 $0\ 1\ 0\ 0\ 0\ 0\ 0$

1011000

 $0\ 1\ 0\ 1\ 1\ 0\ 0$

 $0\ 1\ 1\ 0\ 0\ 1\ 0$

0010011

0001101

 $0\ 0\ 0\ 0\ 1\ 1\ 0$

1

03

- 一行目は頂点の数である.
- 二行目からは判定を行う行列である.

九行目は連結行列を反映することを選ぶための入力である.

十行目は任意の二点間である.

(2) 出力例

2011000

 $0\ 4\ 1\ 1\ 1\ 1\ 0$

 $1\; 1\; 4\; 1\; 0\; 2\; 1$

1114201

0102411

0120141

 $0\; 0\; 1\; 1\; 1\; 1\; 3$

可達:YES 2

行列は下達の際の連結行列である。また可達かどうかの判定であり、判定の後の数字は何 回で可達になるかの数である。

(3) 入力に対する出力結果の妥当性の説明

この入力に対し出力は正しく可達であると出しておりまた可達になるための回数も正しいため妥当である.